

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第63回  
秋田代協

チャリティパーティによる寄付活動

毎年恒例の秋田県損害保険代理業協会中央支部主催のチャリティパーティを令和6年11月22日に秋田市イヤタカ会館に集まり開催された。ビンゴゲームによる抽選大会やギタリストによる生ライブなどが催され盛況に終わった。

その会場内で募金し集まった6万1866円を12月27日に坂谷中央支部長と役員2名が秋田魁新報社を訪問し寄付金を託した。寄付先は毎年、支部役員協議により選定されており、今年は感恩講児童保育園へ全額寄付された。コロナ禍では中止した年もあったが、これまで大災害が発生した被災地や犯罪被害者団体などへ寄付しており、会員の交流を通じ社会貢献できる本活動は今後も継続していく。

東北支部では昨年から交通安全のほり寄贈を実施している。昨年3月に大館地区交通安全協会へ

交通安全のほり74枚を寄贈した。今年も3月19日に交通安全のほり寄贈式が開催され、五十嵐県北支部長が出席している。平成29年10月から秋田県警察本部交通安全課が月に一回発行している「安全サポート新聞」を交通安全の注意喚起や情報提供ツールとして会員を通じお客様や地域住民に展開している。本活動には平成29年9月27日に秋田県警、秋田県、損保協会秋田損保会、秋田代協の四者による「シルバークロスタウン」サポート協定を締結したことによる活動の一環である。

秋田県は高齢化が進み高齢者による交通事故が多発。冬季は積雪や降雪により道路が狭く見通しも悪くなり凍結などによる転倒やスリップなども発生する。田植えや稲刈り時期特有の事故も発生する。交通安全のほりや情報提供を通じ注意喚起を促すことで少しでも地域の皆様の安心安全な生活への一助となるよう本活動を今後も続けたい。

損保協会秋田損保会の会長社に協力いただいている新春セミナー。今年も秋田市イヤタカ会館を会場にセミナーは2部構成で開催した。第一部



チャリティパーティ

は東京海上日動秋田支店の嘉屋支店長より「代理店主・管理職によるコミュニケーション」についてと題し講演いただいた。第二部では秋田代協役員より代協活動について主に委員会などの説明をした。セミナーの後は互礼会を開催し、会食しながら業界の情報交換などの場となっている。

新春セミナー第二部の代協セミナーは2月に開催したオープンセミナーでも開催した。未加入代理店様への代協紹介の場としてはもちろん、会員にも代協活動を再確認する機会として有益である。今後も継続し代協活動の普及に努めたい。

能代地区会員を中心にNPO法人白神ネイチャー協会が主催する「フナ植樹ボランティア」に参加している。秋田代協はNPO法人白神ネイチャー協会の法人会員である。過去に2回、日本代協のグリーン基金より寄付や毎年、総会へ出席するなど交流もある。白神ネイチャー協会は白神山地の環境保全を通じて海の再生も目指し活動しており秋田代協は同法人の会員として地域の自然環境保護活動を行っている。